



# 保健師ら2人派遣

タイ洪水でAMDA

## 心身ケア 情報収集も

国際医療ボランティア  
 ア・AMDA(本部)  
 出発を前に打ち合わせをする  
 大政さん(左)と武田さん  
 岡山駅

岡山市)は14日、大規模な洪水被害が出ているタイに、本部職員で調整員の大政朋子さん(39)と保健師の武田未央さん(37)の2人を派遣した。避難所を巡回して医療活動を補助するとともに、必要な支援物資などの情報を収集する。

タイは7月下旬から相次いで台風に見舞われ、北部を中心に度々洪水が発生。集落が水没するなどし、これまで約270人が死亡、大勢が避難生活を送っているという。

JR岡山駅から新幹線<sup>1</sup>で出発。関西国際空港<sup>2</sup>を経由で同日中に首都<sup>3</sup>バンコクに入る。出発を前に2人は「心身のケアに当たり、一人でも多くの被災者の助けになりたい」と話した。

AMDAのタイでの支援活動は初めて。東日本大震災で、バンコクゼネラル病院の医療支援チームが岩手県で活動したことなどを受け、派遣を決めた。18日には医師も現地入りする予定。

(船越元洋)

■**本社HPに動画**

2人は午前8時前、